

## 文房具がウガンダ共和国の児童と樟蔭生の心を繋ぐ 「駐日ウガンダ大使との国際交流会」 開催！

日時：2019年5月17日（金）13：30～ / 場所：樟蔭中学校・高等学校内

グローバル化する社会に対応するため、樟蔭中学校・高等学校（東大阪市）では、留学やスカイプを利用した授業などさまざまな形で英語教育の改革に取り組んでおります。経済的に困窮しているアフリカの子どもたちに支援の手を差し伸べる「ウガンダプロジェクト」は、グローバル化に対応する国際理解教育の取り組みのひとつとして、2017年度より活動を行なっています。

「ウガンダプロジェクト」とは、学校と生徒が一体となり支援するもので、①ウガンダ産のオーガニックコットンを使用した樟蔭オリジナル補助バッグの製造、②生徒が中心となって集めた文房具の寄贈、の2つの活動で構成されています。寄贈した文房具は、2018年の8月にウガンダのオビヤ小学校（女子小学校）に寄贈され、無事に生徒たちの手に届きました。



**このたび、この支援のお礼も兼ねて、駐日ウガンダ大使が本学を来訪され、本学中学生との交流会を開催いたします。**

是非とも本校の取り組みに関してご取材いただき、ウガンダはじめ経済的に困窮している国々の教育環境について広く市民の皆様にご紹介くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

### 【ウガンダ共和国大使との国際交流会】

日時：5月17日（金）13：30～15：00

場所：樟蔭中学校・高等学校 千種館西棟1階 ICTルーム

内容：13：30～ 中学生による「ウガンダプロジェクト」のプレゼンテーション  
中学2年生が、中学1年生に活動内容を報告します。

14：00～ 駐日ウガンダ大使との交流会

大使より、ウガンダの現状や日本の友好についてお話をいただきます。

\* 大使は交流会終了後、生徒の下校の様子をご覧になられます。

（ウガンダ大使の在校時間：14：00～16：00）

**※取材の際は、事前に下記の間合せ先までご連絡ください**

<本リリースに関するお問合せ先>

学校法人樟蔭学園 学園広報課（担当：梶田）

TEL:06-6723-8152（直通）FAX:06-6723-8263 E-mail: [gakuen-pr@osaka-shoin.ac.jp](mailto:gakuen-pr@osaka-shoin.ac.jp)

## 「ウガンダプロジェクト」について

貧しい農業国で、教育環境も十分ではないウガンダに、学校と生徒が一体となり支援するもので、下記の2つの活動で構成されています。

- ①ウガンダ産のオーガニックコットンで樟蔭オリジナルの補助バッグを作ることで、経済支援を行いました。
- ②樟蔭中学・高等学校自治会執行部の呼びかけにより、家に眠っている文房具をウガンダの子どもたちに寄贈しました。



### 【取り組みの背景】

- ・国際理解教育の中、グローバルな視点から生徒たちが出来ることとして、アフリカの経済的に困窮している国への支援ということ考えたこと。
- ・かつて最貧国といわれていたウガンダ共和国のオーガニックコットンで生徒の補助バッグを作ることによって、何らかの支援ができるのではと考えたこと。
- ・補助バッグの製造を泉佐野市（2020年東京オリンピック・パラリンピックでウガンダ選手団のホストタウンに決定）のタオル製造会社に依頼することで、泉州のタオル産業の支援もできると考えたこと。

### 文房具支援の経緯

2017年12月	中学・高等学校自治会執行部がポスターを作り、校内に掲示。集会でも呼びかけを行い、文房具13kgを集めることができました。
2018年3月20日	ウガンダ共和国日本大使館へ配送。
2018年4月10日	中学・高等学校自治会会長より始業式で全校生徒に報告
2018年5月21日	前日の「セイコーゴールデンランプリ陸上 2018 大阪」3000mに出場したウガンダの女子選手が来校し、生徒たちと交流しました。
2018年8月23日	ウガンダ共和国 オビヤ小学校（女子小学校）に寄贈されました。



ウガンダの女子選手が来校し、生徒たちとの交流



オビヤ小学校（女子小学校）に寄贈され、生徒さんの手に届きました！

中学・高校自治会執行部が、文房具の寄贈を呼びかけたポスター

<本リリースに関するお問合せ先>

学校法人樟蔭学園 学園広報課（担当：梶田）

TEL:06-6723-8152（直通）FAX:06-6723-8263 E-mail: [gakuen-pr@osaka-shoin.ac.jp](mailto:gakuen-pr@osaka-shoin.ac.jp)